

旭陽化学工業株式会社

堅実・誠実・確実・迅速実行

旭陽化学工業(株)は牛、豚、魚、鶏等あらゆる原料を用いて、膠・ゼラチン・コラーゲンペプチドを原料処理から最終製品まで一貫して製造している国内唯一の企業です。兵庫県版HACCP、FSSC-22000など食品製造に必要なあらゆる認証取得しています。昨年は兵庫県オンリーワン企業に認定されました。

商号	旭陽化学工業株式会社
本社	〒671-1225 姫路市網干区福井45
創業年	1884年(明治17年)
設立年	1957年(昭和32年)
資本金	5,000万円
従業員数	80名
事業内容	膠・ゼラチン・コラーゲンペプチドの製造・販売業



昔の田寺製膠所空撮

皮革副産物の有効利用

当社の歴史は1884年(明治17年)田寺源太夫が皮革副産物を利用して、接着用の晒膠を製造したのが始まりです。広い農地を利用して夏は米作、冬は膠の天日乾燥を行いました。冬には新潟から大人数の季節作業者が住み込みで膠の製造を行いました。膠抽出用大釜、膠液を固める箱、切り出し用道具、乾燥用網等が残っており当時の作業をしのぶことができます。姫路はマッチ産業が盛んでマッチ用の膠を主に作っていました。その後少しずつ機械化を進め、工業用ゼラチン、食用ゼラチン、医薬用ゼラチンへと移っていきました。近年はその技術を活用してコラーゲンペプチドの製造・販売をいち早く手がけ、現在は国内生産量の50%超になっています。



製品群

BSE危機を乗り越えて

2001年日本国内で発生したBSEにより、牛由来製品の製造・販売に大きな影響があり業界として大変な危機を迎えました。幸いなことに、当社は豚由来製品の製造も行っており、牛から豚製品への転換で危機を最小限に抑えることができました。教訓として同一品目大量生産でなく、多品種品を手掛けることでリスクを分散することが大事であると思っています。現状に満足することなく、品質向上や製品開発に日々取り組むことで顧客から信頼を得て新規商品の開発依頼も増えており、何事にもチャレンジする姿勢で今日まで至っています。

社会貢献に繋がる活動

2021年1月当社はSDGs宣言を行い、社会貢献に繋がるような活動をさらに目指します。当社と東京芸術大学と共同で復元した三千本膠は全国各地の文化財の修復に使用され、日本画、和紙、漆工芸、製墨等日本の伝統産業に必要な材料として認知されています。昨年はブータン政府のチベット仏教最古の経典復元事業に当社の三千本膠を提供したことで感謝状をいただきました。天然原料を使用して品質の安定化が大変ですが供給する責任を感じています。またゼラチン、コラーゲン以外の新商品開発に取り組み、新たな柱になる商品も育ちつつあります。国内唯一の原料処理から最終製品まで一貫して製造できる強みを生かしてこれからも顧客から信頼される企業であり続けたいと思っています。



製造設備
(貫流ボイラー)

since
1884